

陳情第5号

水道料金の値上げを中止すること

- 1 要 旨 物価上昇が続く中、松江市が審議しようとしている水道料金の引き上げは、年金生活者にとって命にかかわるものとなっている。したがって水道料金の引き上げの中止を求める。

松江市では、水道料金値上げ案を検討しているとの報を受け、このことは年金生活者の生活をおびやかすものとして水道料金の値上げを中止することを求める。

年金生活者は、すでに引き続く物価上昇で日々の暮らしが厳しくなっている。この厳しさは、年金が消費者物価の上昇に追いついていないことが原因になっている。

具体的には、今年度の年金額は、去年の物価上昇率を0.8%減額された支給額になっている。そもそも水道水は、生活に欠かせないもので、災害時にライフラインの復旧としてまず取り掛かるものの一つである。その水道水の料金を26%も引き上げることは、今でさえ物価上昇に苦しんでいる年金生活者にとって、また多くの市民にとっても命にかかわるものである。

以上のことから、次のことを要望する。

松江市の水道料金の値上げを中止するよう求める。

松江市議会として市当局に値上げをしないよう働きかけを求める。

- 2 提 出 者

全日本年金者組合島根県本部東部支部
橘 祥 朗

- 3 受理年月日 令和7年11月27日


- 4 付 託 先 建設環境委員会

陳情第 6 号

松江市の水道料金の値上げの中止を求める陳情

- 1 要 旨 松江市は水道料金の平均 26.02%もの値上げを検討している。生活に不可欠な水道の料金値上げは、くらしの負担に追い打ちをかけ、命にもかかわる。松江市は、県下でも水道料金会計に繰り入れる一般会計の額が近隣の市と比べても低い状況である。国の重点支援交付金などあらゆる手立てを講じられ、水道料金を値上げしないようお願いする。

私たちの団体の会員の多くは、主に家計を預かる身であり、相次ぐ物価高騰の中、「もう節約は限界」「どこも削るところはない」と悲鳴に近い声が上がっている。そして、医療費や介護保険の負担、子育て世代の学費の負担にも、年金の引き上げや、賃上げが全くついていっていない。このような家計状況下で、ライフラインとして不可欠な水道の料金を上げたり、支払いが困難な世帯に対してライフラインを断つような行政判断はせず、市民の暮らしを支える立場でセーフティネットを守るよう働きかけをお願いする。

- 2 提 出 者 
新日本婦人の会松江支部
神 門 喜 久 子

- 3 受理年月日 令和 7 年 11 月 28 日

- 4 付 託 先 建設環境委員会